

第4回嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会 会議要録

1. 審議会等の名称 第4回嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会
2. 開催日時 令和5年1月18日(火) 19時00分～20時25分
3. 開催場所 嘉麻市役所 5階 委員会室2
4. 公開または非公開の別 公開
5. 非公開の理由 (会議を非公開とした理由)
6. 出席者
 - (1) 委員
井原委員 飯島委員 大田(晴)委員 山田委員 小野田委員
大田(岱)委員 圓入委員 宮崎委員 深町委員 有田委員 高松委員
※欠席：緒方委員
 - (2) 事務局
総合政策課長 大村輝生
地域活性推進係長 山口宏彰 企画調整係 児玉直人
地域活性推進係 伊藤奈津
※欠席：総合政策課長補佐 松隈康典
7. 傍聴人数 0名
8. 議題及び審議内容
 - (1) 第3回会議要録について(資料③)
(事務局) 第3回会議要録についてご意見等あればお伺いしたい。
(副会長) 3ページ目、上から3行目に『肯定的な～』とあるが、『否定的な』に変更いただきたい。
(事務局) 修正し、次回提示する。
 - (2) 審議会ロードマップについて(資料12)
(事務局) 前回2回程度審議会を延長することについてご了承いただいたところであるが、配置や機能規模を1度の審議会で決定することは難しいため、さらに1回延長し6月答申の予定としたく、この事について委員の皆様からの意見を伺いたい。
(会長) 審議会をさらに1回延長し、翌年6月答申とすることについてご意見等あるか。
(副会長) 今後審議事項が具体的になるにつれて時間も長くなっていくと想定されるが、6月以降に延長となる可能性はあるか。
(事務局) 審議状況によりご相談する可能性もあるが、出来れば6月に答申としたい。
(会長) ロードマップの第6回に意匠イメージ確認とあるが、ここで確定となるのは危険ではないか。
(事務局) 審議会で確定したととられない表記とし、次回審議会で決定していく事項についてもう少しわかりやすい資料を提示する。
(会長) 他に意見等なければ、審議会の延長について決定する。

(3) 熊ヶ畑拠点施設配置の比較検討について(資料13)

事務局より資料13について説明。

- (会 長) それぞれの違いについて、A案は活性化センター付近に施設を隣接させた案、B案は広場を広くとり、敷地の両サイドが施設となる案、C案は活性化センター付近にレストラン施設のみを配置し、温浴施設やトイレをそれぞれ分散させたような案となっている。
- (委 員) 個人的にはB案を推す。イベントを行うのであれば広場はある程度の広さが必要であり、利用もしやすい。
- (委 員) 温浴施設のボイラー音の大きさはどのくらいか。B案、C案がいいと思っていたが施設配置によってはボイラー音が気になり民家の方にとって騒音になり得る。
- (事 務 局) 担当課への確認が必要であるが、建設時はそのような配慮も必要であり考慮しながらの実施設設計となる。
- (会 長) 重油や灯油などボイラーで異なるが、騒音について十分配慮するという審議会の意見としたい。そのことも含め委員の皆様には検討いただければ。
- (委 員) どのポイントを重視するかによる。新たな施設が出来たことを認識している場合、視認性がどれだけ必要であるのか。
- (委 員) 新しい施設について市もアピールするとは思いますが、上手くやらなければ認識されない。
- (副 会 長) 地元側の意見としては県道からの視認性はあまり良くないと考えている。B案やC案の配置とした場合、正面玄関は道に面さない。ボイラーなどが背面にくると考えると視認性があると言えるのか。
- (会 長) 県道67号からの視認性はあまり意識しなくてよいのでは。
- (副 会 長) コンサルの方は現場を確認し、視認性ありと判断したため今回の資料を提示しているのか。
- (会 長) 県道からの視認についての可能性も含めたコンサル側の資料であると考えられる。
- (委 員) 施設があることを認識して来る場合が多いと推定し、さらに県道からの交通量なども考慮した場合視認性はあまり考えなくてもよいのではないか。地元の方々は活性化センター付近に施設がまとまっていた方が良いのか、もしくはイベント利用なども想定し広場を広くとった方が良いのか伺いたい。
- (委 員) 地元の意見としては活性化センターとの連携、次いで広場利用を重視していたが、集客のため温浴施設とレストランの広さも確保した場合広場のスペースは狭くなってしまう。
- (副 会 長) 温浴施設のクオリティを優先したいという思いがあり、当時の委員会の意見とはズレが生じているのが現状。
- (委 員) 効率が良いのはA案、イベントを重視する場合はB案が良い。民家間際まで計画敷地とするのか。
- (事 務 局) 計画の中ではその範囲で話をさせてもらう予定である。
- (委 員) 白雲荘跡地に広場を作ることは可能か。
- (事 務 局) 計画範囲は現在示している箇所であり、白雲荘解体後の計画は現状白紙である。
- (委 員) 施設は独立とし、共有部分はない方が運営しやすい。公民館は電気代くらいだが温浴施設、レストランは費用がかかる。

- (委員) 公民館機能を2階にという案もあったが、高齢者も多いため、階段の利用を避ける意味でも個々の施設とした方がよい。
- (事務局) 参考として、市内の複合的機能を持つ施設の運営主体はそれぞれだが、メーターを分けるなど管理はできているところである。
- (副会長) 現在白雲荘の公民館は機能していない状況。担い手不足もあるが、公民館という縛りがあるため活動が制限される。コミュニティセンター機能とすれば兼用が可能となる。
- (委員) 個別の施設となれば建設コストは高くなる。抑えるところは抑え、永く続くことも重要ではないか。
- (会長) 嘉麻市は公民館条例があるのか。
- (事務局) 条例あり。先ほどの意見のとおりコミュニティセンターとしての位置づけとなると活動も広がる。
- (会長) 小さな拠点という意味でその地域の施設となれば集約しても自由な利用が可能になるのでは。
- (副会長) 個人的な意見として、レストランとして運営する場合は集約してもよいが、個別施設となれば起業したい人向けにテナントとして安い賃金で貸出するなどコミュニティセンターを兼用したものとしても良いと考える。
- (会長) 活性化センターとの連携は必要か。段差もあり物理的には可能なのか。
- (事務局) 地域将来計画では連携について示されている。実際は段差がありフラットに造成する必要がある。
- (会長) すぐ傍に施設があるというより、機能的な関係性としての連携という意味であれば隣接していなくても良くなる。
- (委員) 市外から人を呼び込むのであれば魅力ある施設とし、昨今はSNSが盛んであることから広場と施設の写真などあげれば集客にもつながるためB案が良いのではないか。
- (委員) 温浴施設とレストランを利用する事を考えると、天候など考慮し集約した施設とした方がよいと考える。
- (会長) 集約化した方がよいとの意見について、敷地両端に施設があれば全体が大きく見えるといったメリットもある。
- (委員) トロッコフェスタ会場と広場がつながるのも良い。
- (副会長) 実際のホームは資料には入っていない箇所になる。広場予定箇所からは高さもあり人が上がるのは大変というのが現状である。
- (委員) 活性化センターとの連携が物理的に難しいのであればB案がいいのではないか。
- (委員) 広場にキャンプサイトのようなものを併設しても良いのでは。
- (副会長) 敷地内に設置するというより、中継地点としてはどうかの話であった。
- (会長) 敷地の有効活用ということで委員会の方針として、活性化センターとは必ずしも隣接しなくて良いこと、施設を集約するといった意見でコンサルにお返ししたい。

(5) その他

(委 員) バイオマスボイラーの検討をお願いしたい。

(副 会 長) 八女にあるべんがら村が熊ヶ畑で計画しているものと同じような施設になっており、地元で視察に行く予定。バイオマスボイラーも使用しているとのことでは何か参考になる可能性もある。実際に調べたり行ってみるのも良いのではないか。

(会 長) 初期投資もしくはランニングコストの話になってくるが、実際のコスト計算をしなければ判断がつかない。この審議会の答申というより検討事項として事務局にお返しする。

(事 務 局) 前回質問があったなつきの湯の施設賃借料について、水道光熱費等は含まれておらず賃借料のみとのことであったため報告する。

9. 配 布 資 料

- ・資料③ 第3回会議要録（熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会）
- ・資料12 審議会ロードマップ（熊ヶ畑地域）
- ・資料13 施設配置比較検討表（熊ヶ畑地域）